

令和8年度 熊本県高等学校駅伝競走大会(男子・女子)

各学校出発用タスキについての基準

熊本県高等学校体育連盟 陸上・駅伝専門部

平成21年度大会から、出発時のタスキについて、各学校が準備するオリジナルタスキの使用を認めることになりました。これは、各学校からの要望と、高校生が母校の名誉にかけて感謝の気持ちを持って公道を走る姿を、より県民にアピールしたいということから始めたものです。

そこで、専門部として以下のような基準を設けておりますので、確認後、作成をお願いします。下記の内容は規定ではなく、基準としてご理解いただきたいのですが、今大会は高体連の大会で、しかも全国大会予選でもありますので、趣旨をご理解の上、作成につきましては基準を遵守されますようお願いいたします。

1 タスキのサイズ(仕様)について

県高体連仕様

日本陸連基準

長さ・・・160cm～180cm 幅・・・ 6cm

上記のように、日本陸連基準はありますが、現在、高校駅伝で使用しているものは、県高体連仕様です。しかしながら、男子において若干短いのではないかという意見もいただいています。よって、県駅伝大会では、170cm程度、幅5～6cmとします。著しい長短のタスキは作成しないで下さい。

仕様・・・肩から脇にかけるタイプで、片側の末端にタスキを通す穴を作り、そこにもう片側のタスキを通し、結び目を作りユニフォームのパンツに入れる仕様とする。

2 色について

スクールカラーおよびユニフォームカラー等3色程度

(華美でないもの、特にラメやスパンコール等の装飾は厳禁)

3 文字・マークについて

学校名および部活動名に限る。マークについては、校章・部章のみとする。

個人名は厳禁(ただし、寄贈団体等は入れてもよい) 文字カラーは2色程度

4 その他

お守り等の付属品は厳禁

不明な点は、必ず専門部(専門委員長)に連絡する。

※今年度、出発用のタスキを準備される学校は、申込用紙の下部に、使用の有無についての記入欄がありますので、申し込み時に申請してください。また、(今まで許可されている学校も申請をしてください。)

今年度新たに使用する学校は、代表者会時に持参し会終了後、専門委員長の使用許可を得て下さい。

(H21～令和7年度許可された学校は持参する必要はありません。ただし、一度許可されても、再度作り直しをされた学校は申請して下さい。)